

# YWVOB 会 会報 No.72

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

<http://ywvob.com/>

2019年9月7日発行

## ～ 72号の目次 ～

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| ・YWVOB 会長ご挨拶・・・・・・・・・・1      | ・OB会費納入のお願い・・・・・・・・・・11      |
| ・2020 年度 OB 総会案内・・・・・・・・・・2  | ・印刷版名簿廃止のお知らせ・・・・・・・・・・11    |
| ・2019 年第 2 回役員会報告・・・・・・・・・・3 | ・自由投稿①「小日向山での Sailing」・・・・12 |
| ・2019 年第 3 回役員会報告・・・・・・・・・・4 | ・自由投稿②「大家好」・・・・・・・・・・13      |
| ・第 55 回 OB 山行（棒ノ折山）報告・・・・5   | ・自由投稿③「赤色立体地図の面白さ」・・・・14     |
| ・第 56 回 OB 山行（谷川岳）案内・・・・6    | ・現役部員の活動紹介・・・・・・・・・・17       |
| ・苗名小屋便り・・・・・・・・・・7           | ・訃報・・・・・・・・・・18              |
| ・現役夏合宿激励会報告・・・・・・・・・・9       | ・観天望記（編集委員会から）②・・・・19        |
| ・観天望記（編集委員会から）①・・・・10        |                              |

## ■ YWVOB 会長ご挨拶

会長 西田雅典（20期）

今年は数十年ぶりの梅雨寒と短い日照時間に驚きましたが、7月末の梅雨明けからは35度から40度近い猛暑が続いています。何はともあれ熱中症対策として、屋外活動は体に少しでも変調を感じたらすぐ中止しましょう。

30人以上の大所帯になった現役の活動は、8月初旬に夏合宿で槍・穂高、8月末に富士山、9月に鳳凰三山と分かれて実施されました。熱中症対策も勿論ですが、OB会としても安全な登山のための助言や支援を進めています。

今年は10/5(土)の横国 DAY の日にOB総会並びに、2年ぶりになるワンゲル企画展を現役と共同で行うべく準備を進めています。OB総会ではこれまで議論してきた将来に向けた運営方法の見直しなども審議していただきます。恒例になりましたが、交流会ではワンゲルのリードによる「みはるかす」とエールで締めとなります。

OB総会およびワンゲル企画展には、さらに多数のご参加をお願い申し上げます。

2019年10月5日（土）

10:00～11:00 **2020年度 OB総会**

横浜国立大学常盤台キャンパス 経営学部講義棟1号館108

11:00～14:00 **企画展**

横浜国立大学常盤台キャンパス 経営学部学生ホール

たくさんのOB会員の皆様のご来場をお待ち申し上げます

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

2020 年度 YWVOB 総会招集ご通知

会長 西田雅典

日時：10月5日（土）10時開始

場所：横浜国大 常盤台キャンパス 経営学部講義棟1号館108

議案：活動報告・決算報告・予算案・会員入退会等現況報告・会則改正・役員改選等  
(本年度総会は会則改正の審議があります)

2020年度のYWVOB総会は10月5日（土）の横国Day（ホームカミングデー）と同日開催になります。本年は3年ぶりにワングル企画展を開催する予定です（会場：経営学部学生ホール）。「ワングル企画展」では、スライド上映、山の写真展、懐かしいワングル装備の展示などを行います。是非OB会総会に参加し、「ワングル企画展」をご覧の上、横国Dayのイベントにもご参加ください。

横国Dayの交流会（15時30分～17時 会場：第一食堂れんが館）ではワングル関係者が集まる一角を確保する予定ですし、最後に「みはるかす」斉唱をワングルがリードする予定です。

横国DayのURLはこちら → <https://www.ynu.ac.jp/about/project/yokokokuday/2019.html>

（交流会は今後横国Day ホームページに掲載される予定の解説または各同窓会のご案内に従って各自お申し込みください）

OB総会参加手続き及び近況調査をメールで配信しますので返信をお願いします。メールアドレスの分からない方には、名簿調査を兼ねた返信ハガキをこの会報に同封しますので、葉書にて返信をお願いいたします。

OB総会はOB会を構成する過半数の期から1名以上出席（委任状でも可）することによって成立します。期別幹事とも連絡を取り合い、各期極力ご参加いただけるようご協力よろしくお願いいたします。



# 2019年 第2回役員会報告

幹事長 白木政隆 (21期)

2019年4月20日(土) 14:00 からカルッツかわさきにて2019年第2回役員会が開催された。

【出席】 嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、榎本(12)、山川(12)、白須(17)、小浜(17)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、安武(20)、白木(21)、成島(22)、木村(23)、吉田(23)、古川(25)、池野(27)、楠本(28)、親跡(34) <現役> 林(61)、小室(61)、木下(61)、坂田(61)、計24人

## 【議事内容】

### 1. 会長挨拶

・前回役員会でも話した通り、後の全体討議で今後の課題に備えた体制・仕組み作りについて議論したい。

### 2. 委員会報告内容

#### ①総務委員会

会員名簿はメールでの電子媒体配布のみとし、紙での印刷・送付は今年より廃止する。会報やメルマガにて周知を図っていきたい。

#### ②編集委員会

4月発行のOB会報は4/21 発送予定。次回の発行の概要は7月の役員会で提示する。

#### ③OB山行委員会

5/18OB山行の棒ノ折山の偵察を4/6に実施。

#### ④OB小屋委員会

今年は昨年ほどの大雪にはならず笹ヶ峰でも2m程度の積雪。2-3月には現役、西田会長・石垣編集委員長が雪かき参加。GWの現役小屋入りから11月小屋締めまでのスケジュール案の概要について説明される。  
※5/1-3 プレ小屋開け(井戸開放等)、6/1-2 小屋開き・山菜採り、7・8月小屋整備、10月秋の小屋行事等々

#### ⑤部史編纂委員会

以前デジタル化した写真の所在を確認中。現役記録をどう歴史資料館に取り込むかを現役と検討していく。

#### ⑥HP委員会

HDDを購入してデータのバックアップを実施する。OB会としてのサイト運営をサーバー会社に打診中。

### 3. 全体討議内容

・西田会長から、総会運営案、現役との親睦強化、今後の小屋方針、サイト再構築、名簿管理の方法再構築、特別準備金活用の仕組み、規程の簡素化、総会定足数の1/3への見直し案(役員会では承認)、総会の運営効率化等の提案がなされ、次回の役員会までに各委員会で検討・素案を検討することを確認する。

### 4. 現役報告

・活動報告 現在部員数は2-3年で20名(内女性5名)。説明会～部室での料理会～新歓山行と3段構えの新歓のシナリオ報告や2019年度活動予定をPPで詳細に報告をいただく。  
・新人練成・岩場訓練として丹沢山、岩殿山、乾徳山、金峰・瑞牆山、北岳・間ノ岳、両神山と盛りだくさんの計画をしており、夏合宿で槍ヶ岳～穂高、富士山等を検討している。  
・小屋活動についても 5月小屋開き、7月～9月夏小屋、10月小屋拠点登山、11月小屋閉め、1～3月雪下ろし&小屋スキーと積極的に参加をして行く。  
・前回役員会以降の活動報告をPP+動画で実施。雪下ろし、丹沢・大室山、九州霧島・阿蘇、丹沢・蛭ヶ岳、新歓の画像等の説明を受けた。

### 5. 次回役員会

・2019年7月15日(月) 15時～18時30分 産業振興会館/第1会議室にて実施

# ■ 2019年 第3回役員会報告

幹事長 白木政隆 (21期)

2019年7月15日(月) 15:00 から川崎産業振興会館にて2019年第3回役員会が開催された。

- 【出席】 嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、榎本(12)、山川(12)、竹村(13)、白須(17)、小浜(17)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、横溝(21)、白木(21)、伊藤(23)、古川(25)、池野(27)、親跡(34)、小野(34)
- <現役> 林(61)、小室(61)、木下(61)、今井(62)、大谷(62)、宮田(62)、西山(63)、水内(63)、中山(63)、志田(63)、江藤(63)、金(63)、島(63)、奥田(63) 計33人
- ※現役は当日講義があった方の一部が遅れて参加。

## 【議事内容】

### 1. 委員会報告内容

#### ① 総務委員会

OB総会を10/5横国DAYで実施。企画展の再開をする予定。総会では会則見直しを提案する予定。

#### ② 編集委員会

会報72号を9/7に発送予定。8/9原稿締め

#### ③ OB山行委員会

OB総会の日程が確定したので、OB山行を9/28に変更。谷川岳ロープウェイ9:20に間に合うよう検討。来期のOB山行は1/18沼津アルプス、5/16金峰山、10/17 or 9/26御岳山を検討中。

#### ④ OB小屋委員会

現役も山小屋入りが増えており連休も参加。7/20に荷運び実施予定。8月はお盆に実施メンテ予定。

#### ⑤ 部史編纂委員会

歴史資料館HPについての勉強会を実施。今後の方向性検討。現役時代の現役名簿の作成を検討。

※参加者名のみなら問題ないと思うが、OB会としての名簿管理は慎重にする必要があるとの意見があがった。

#### ⑥ HP委員会

アンケートの説明、イベントの案内をGoogleフォームで実施。今後の出欠の確認での使用検討。

幹事長兼務を避ける為、HP委員長として20期武藤氏の就任を役員会として承認。10月正式に交代。

### 2. 全体討議内容

- ・西田会長から、国大基調講演・交流会の時間とすり合わせた総会+企画展案提示。8/1現役激励会の予定を説明。
- ・期別幹事についての経緯確認。会則の総会定足数変更、総会決議事項の整備(報告事項と決議事項の明確化)、決算承認の提案があり、次回の役員会で最終案を決定。
- ・小屋交通費補助の見直しについては次回の役員会で最終の提案をOB小屋委員会からいただき、今後のOB会案を決定する。

### 3. 現役報告

- ・活動報告 新歓から夏合宿に向けてのトレーニング報告や、2019年度活動予定をPPで詳細に報告をいただく。

### 4. 次回役員会

- ・2019年9月21日(土) 14時~17時00分、てくのかわさきにて実施。



## ■ 第55回 OB山行（棒ノ折山）報告

親跡冬樹（34期）

〔日程〕 2019年5月18日（土）

〔行先〕 棒ノ折山（ぼうのおれやま、棒ノ嶺ともいいます）969m

〔コース〕 川井9:34＝バス＝9:58 清東橋→奥茶屋→11:59 棒ノ折山 12:45→岩苺石 13:25→白谷橋 14:56  
→15:25 さわらびの湯

標高差（登り/下り）：567m/712m、 歩行距離：6km、 歩行時間：3時間25分

体：★★（登り）、 技：★★、 危：★★（下り）

〔参加者〕 吉野(2)、細田(7)、佐木(8)、早坂(8)、川崎(早坂友人)、鈴木(9)、山本(10)、岩崎(12)、榎本(12)、山川(12)、竹村(13)、小口(14)、牛窪(15)、中島(15)、小浜(17)、白須(17)、壺井(18)、堀内(18)、磯尾(19)、石垣(20)、西田(20)、小野(34)、親跡(34) 〔計23名〕

今年7月に引き起こされた「京アニ(京都アニメーション)放火事件」は世間を震撼させ、ご記憶に新しいかと存じます。この京アニに所属し、独立した方が手がけて人気の出たアニメ作品が「ヤマノススメ」。高校生を中心とした少女たちが登山に惹かれていく物語で、作中、埼玉県飯能市は主人公たちの住む場所と設定されています。飯能市の棒ノ折山はアニメの原作で登場することから、いわゆる「聖地」（アニメなどの舞台になった土地を指す）のひとつと目されている山でもあります。

若者に知られるようになったこの棒ノ折山で5月18日(土)、第55回OB山行が開催されました。猫の額のような土地に作られたワサビ田の脇を抜け、植林された林の中を登って行きます。ワサビ田の緑を眺めながら、「水のきれいな土地なのだろうな」と考えていました。中には小学校の授業で作っているワサビ田もあるようです。

一時は雨粒が当たるのを感じたのですが、山行の間に天候が回復し、清々しい登山日和に変わって行きます。4月の偵察山行とは山の様子もがらりと変わり、新緑が目鮮やかでした。

登山者で賑わう山頂で昼食をとり、沢沿いへと下り始めると、山頂へこれ以上進むのが嫌と泣き出すお子さん連れに遭遇。沢沿いに登ってきた子どもには大変な試練だったようです。その原因となったのが、下山ルートの中に控える岩場。清々しい滝を眺めながら、ちょっとした沢歩き気分を味わうことができ、参加されたOB諸氏諸兄も楽しんでおられた様子です。鋭い逆三角形にそびえるゴルジュ(フランス語で喉、峡谷の意)をくぐり抜け、無事下山しました。

下山後は温泉「さわらびの湯」で汗を流しましたが、飯能駅までのバスを待つ間、向かいの斜面にサル姿が見え、注目を集めていました。



## ■ 第56回 OB山行（谷川岳）案内

OB山行委員長 山口貢三（18期）

夜の上野のプラットホーム～♪ とえば谷川岳ですね（これが分かるのは何期まででしょうか）。上越国境にあるこの山は、歌になるくらい岳人の憧れでした。夜行列車に乗り土合駅に着き地下ホームから地上まで81m、462段もの階段を登ったよ、と言うのは今では遠い昔話になりました。1985年上越新幹線と関越道の全線開通以来、新幹線、バス、またはマイカーとロープウェイを利用すれば日帰りの可能な山になりました。

とは言え谷川岳の岩、沢、縦走は今でも上級者向けであることに変わりありません。そんな中で天神平からの日帰りコースは誰でも楽しめるので、人気のコースです。登ることに意義があり、頂上での達成感を存分に味わいましょう。初めての方も大歓迎です。皆さんの参加をお待ちしています。

【日 時】 2019年9月28日（土）

【行き先】 谷川岳（1977m）

【集 合】 谷川岳ロープウェイ天神平駅出口 10:00

バスでロープウェイ土合口駅に到着後、各自でロープウェイに乗って天神平駅までお越しください。

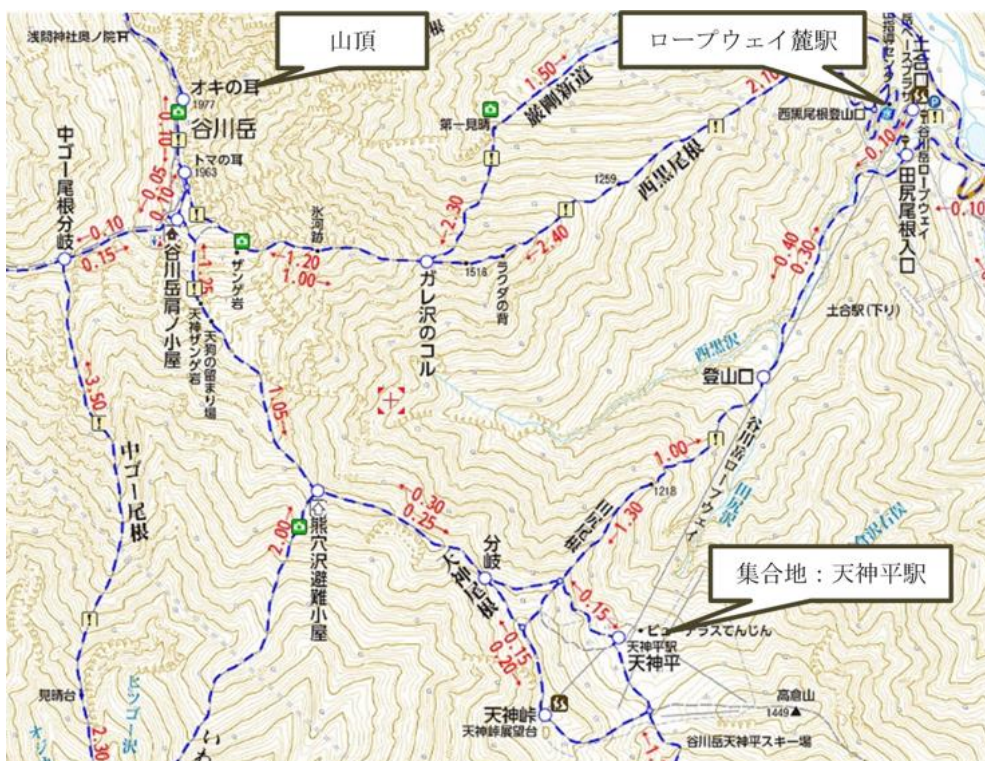
【交通の案内】 新幹線たにがわ401号 東京駅6時36分発 上野6時42分発 大宮7時02分発  
7:34高崎下車 7:45＝JR上越線⇒8:50水上 9:00＝路線バス⇒9:20谷川岳ロープウェイ駅  
または 上毛高原駅下車 8:35＝路線バス⇒9:20谷川岳ロープウェイ駅  
東京以西の方は休日バス＋JR切符（本庄早稲田～水上）がお得です。新幹線は大宮から乗るのがお得です。

【コース】 天神平 10:10→12:30 谷川岳肩の小屋（オキの耳往復 35分） 13:45→15:35 天神平  
〔標高差〕653m 〔歩行距離〕7km 〔歩行時間〕4時間40分 体★★ 技★ 危★  
帰りのバスは谷川岳ロープウェイ駅を16:10発、水上駅16:33、上毛高原駅へは16:47に到着します。

【費 用】 山行費 500円、交通費 各自負担（バス片道 水上：740円、上毛高原：1,250円、ロープウェイ往復 2,060円）

【持ち物】 雨具、昼食等 日帰りハイキング用具

【申し込み先】 9月21日までにOB山行委員会にメールでご連絡ください。メール：sanko-ywvob@ywvob.com





## ■ 苗名小屋便り

OB小屋委員長 榎本吉夫（12期）

5月1日（水）～3日（金）にかけて、プレ小屋開けと現役小屋新歓を兼ねて、OB3人、OB家族と現役18人の計22人が小屋入りしました。1日早朝に先発の4年生（60期）車（レンタカー）で、59期藤岡さん、60期長島さん、志尾さん、南原さん、秋山さんの5名が小屋入り。午後にバス・電車の61期林さん、小室さんの2名を4年生車が妙高高原駅でピックアップして小屋へ。1日深夜に榎本車で、61期新宮さん、63期（新入生）金さん、中山さん、榎本の4名、30期笹倉車で、61期木下さん、高田さん、63期志田さん、竹村さん、免田さん、笹倉さんの6名、OB古矢（56期）車で、61期坂田さん、62期大谷さん、63期江藤さん、古矢さんと母上の5名が小屋入りし、計22名の春小屋としては久しぶりの大入りとなりました。残雪は、屋根雪落雪・排雪は1m以上ありましたが、他は数10cmでした。

1日～3日の天気は良く、気持ちの良い残雪の春小屋を楽しめました。プレ小屋開けのメイン作業は、雪囲いの取り外しと井戸水道の開通ですが、残雪下の井戸探しは、先着の4年生組が掘り出してくれました。また、夕食用の炉の掘り出しも、炉を囲む残雪を掘っての雪のベンチ作成もやっただき、用意万端でした。水道の開通作業も現役にお任せし、問題なく進みましたが、外の水栓に凍結による水漏れが発生し、急遽中間水栓を購入して外への配水をストップ、小屋内の流しの水道のみは使用可能としました。小屋の周囲はまだ一面の残雪なので自由に長靴で散策できました。水芭蕉は咲き始めでしたが、山桜はまだ蕾で、ちょっと色づいている状態で、開花までは後1～2週間掛かるようです。6月の小屋入り時には、残念ですが散った後になりそうです。2日昼間は、4年生組はドライブへ、現役組で井戸開通作業と新入生を連れて仙人池への散策を実施し、夕方からは、恒例のバーベキューになりましたが、天気が良過ぎたせいか、日が落ちてからは冷え込み、冬並みの寒さでした。締め焼きそばのそばを買い忘れるハプニングがありましたが、現役在庫のうどんで代用、焼うどんとなりました。

3日は午前中の後片付け、掃除中に、5期諸角ご夫妻、子供夫婦とお孫さんの5人が到着、5日まで滞在の予定。現役組は、2日朝から別行動の古矢車の到着を待って、14時前に小屋を後にして林道に出たところで、30期宮崎さんとその友人5名に遭遇。4日、5日に小屋からのピストンで山スキーを楽しむそうです。久しぶりの現役多数の小屋で、新入生も普段味わえない自然の中の生活の一端を楽しめた？かと思います。



連休の残雪のなえな小屋



連休のOB、現役諸君



現役による、井戸水道の開通作業



残雪の中でバーベキューの現役諸君





残雪の中でバーベキューの現役諸君



小屋内での歓談！ O Bはお呼びで無いです！



ソリに興じるお孫さんと現役！

6月1日（土）、2日（日）に小屋開け&山菜採りを実施いたしました。参加者は、前日5月31日（金）午後には諸角夫妻が小屋入り、同深夜に8期佐木車、笹倉車、榎本車で現役10名とOB3名が小屋入り、1日午前には14期小口さんが小屋入りしました。参加現役は、61期林さん、木下さん、坂田さん、5月に続けて63期（1年）の金さん、志田さん、竹村さん、今回初回の島さん、奥田さん、西山さん、水内さんの10名です。合計16名の参加となりました。

1日午前中は小屋周辺での山菜採り。最近では雪が少なく雪解けが早かったのですが、今年は雪が遅くまで残っていたせいも、ちょっと山菜採りには時期が早かったようです。タケノコ、ワラビ、コシアブラ、タラの芽などが採れ、早速天ぷらで食しました。午後は天気が良かったので、諸角夫妻に留守番をしていただき、現役とOBで夢見平遊歩道へ、残雪の焼山、金山、天狗原山を背景に満水の乙見湖の絶景が楽しめました。夢見平は日陰に残雪が少し残っていました。水芭蕉は既に花の時期は過ぎていましたが、カタクリはまだ残っていました。小屋に戻り、夕食は恒例のバーベキューで楽しい時間を過ごしました。2日、午前中片付け、昼前に小口さん、諸角夫妻が下山、昼過ぎに全員小屋を出て、途中雪解けで水量最大の「なえなの滝」を散策して、「リンゴの湯」経由で帰路に就きました。5月、6月で現役新人10名の小屋利用となり、今後の現役小屋活用の高まりが楽しみです。



久しぶりの満水の乙見湖と焼山

7月の小屋行事は20日（土）～21日（日）を予定しておりましたが、現役は13～15日3連休は山行行事、20～21日は試験前期間で小屋入りはありませんでした。行事としての小屋入りは、小口さん（21日）、榎本（21、22日）の2人でした。小屋整備としては、駐車場から造林小屋までと小屋入口、炉前をざっとやりましたが、一昨年から広げた南エリアは未着手で、自然？に戻りつつある状態でした。8月のお盆休みの小屋行事には、現役は夏合宿直後で参加が難しいようですが、秋には火打山登山の計画もあるようです。現役の皆さん、そしてOB各位の小屋利用が増えることを期待しておりますので、よろしくお願いします。



水量豊かな6月の苗名の滝

#### 今後の予定

- 8月 夏の小屋行事&小屋整備 お盆週間10日（土）～18日（日）に分散実施
- 10月 秋の小屋行事“きのこ採り”12日（土）～14日（月）
- 11月 小屋締め 9日（土）、10日（日）



## ■ 現役夏合宿激励会報告

編集委員長 石垣秀敏（20期）



【日時】 2019年8月1日（木）18:30

【場所】 横浜中華街 龍興飯店（ロンシンハンテン）

【参加者】 29名

<OB> 吉野(2)、山川(12)、石垣(20)、池野(27)、笹倉(30)、小野(34)、親跡(34)

<部長> 河端先生

<現役> (60期) 長島、

(61期) 林、小室、木下、坂田、新宮、高田

(62期) 今井、大谷

(63期) 奥田、島、免田、水内、金、中山、志田、江藤、坂上、西山、武村、平井

現役が夏合宿に出発する直前の8月1日にOB会主催の「現役夏合宿激励会」を行ないました。昨年までは「壮行会」と呼んでいましたが、今年から「激励会」となりました。何故変わったのかは不明ですが、夏合宿を「より楽しく、より安全に」してもらうために「激励する」方が会の目的にピッタリだからですかねえ。OBや現役の他に河端部長先生も参加され、総勢29名の大宴会となりました。

まずはOBからのプレゼントです。1つ目は共同装備のヘルメット購入のための金銭的支援、そして2つ目は業界説明の手作り資料（鉄鋼、食品、化学、総合商社と盛りだくさん）です。これが終わるとメインの宴会に突入！最初は様子見なのか、OBとの年齢差に圧倒されたのか、料理を黙々と食べる現役。食べ放題の料理の出方が遅いこともあり、料理が出て来ると直ぐに無くなり、また静かに出て来るのを待つのみ。しかし、徐々に声のボリュームも大きくなり、立ち上がり、テーブルを移動して、後半は現役のパワーが全開です。最後は隣の人の話が聞こえない位ワイワイガヤガヤで3時間があっという間に過ぎました。OBの激励というよりも、現役、特に1年生12人の元気さに圧倒され、逆にOBが元気をもらった次第です。この若さ、元気があれば、夏合宿だけではなく、今後の活動も盛り上がって行くでしょう。



後日、全員が無事下山し、現役夏合宿（槍ヶ岳・穂高岳）は大成功だったと聞きました。夏合宿等の詳しい様子はP17「現役部員の活動紹介」をご覧ください。



## ■ 観天望 (編集委員会から) ①

編集委員長 石垣秀敏 (20期)

今年9月20日は何の日でしょうか。

答えはラグビーワールドカップ日本大会 (RWC2019) の開幕です。しかし、どれだけの人が知っているのでしょうか。来年は東京オリンピック・パラリンピックの年、チケット販売や聖火ランナー募集など既に巷を賑わしています。その陰に隠れてしまったRWC2019を盛り上げる意味も込めて、この観天望記で取り上げてみます。

RWCはオリンピック、サッカーワールドカップと並んで世界3大スポーツイベントと言われ、アジアで初の開催です。「4年に一度じゃない。一生に一度だ。— ONCE IN A LIFETIME —」この素晴らしいキャッチコピーはありますが、日本で盛り上がっているのは年寄りのラグビー経験者だけのようです。ジャパン (ラグビーでは日本代表のことをジャパンと呼びます) は7-8月のパシフィック・ネーションズカップで優勝し、8月12日時点の世界ランキングでは9位で、過去最高位と勢いに乗っています。ジャパンより上位の8チームは欧州5ヶ国、南半球3ヶ国で世界の強豪国です。ちなみに世界1位はニュージーランドです。

ラグビーはボールを投げて、蹴っても、持って走っても良いし、ボールを持っている相手をタックルして止めることもできる、とても自由度の高いスポーツです。サッカーは手を使ってはいけないし、バスケットボールはボールを持って走ることができるのは2歩まで、ハンドボールは3歩まで、と言えばラグビーの自由度が高いことはお分かりでしょう。体をぶつけ合う格闘的な要素もあり、一方、プレーの自由度が高いので戦術が豊富にあり、戦略的頭脳戦の要素も持つスポーツです。ですから、単純に見ても楽しいし、マニアックに特定のポジションを注視して、次のプレーや戦術の予想をしたりしても楽しいです。

(P16に続く)

## OB会費納入のお願い

会計幹事 吉野大次郎（2期）

会計幹事 松本 和之（29期）

OB会報第72号に同封の払込取扱票は、2020年度（2019年10月～2020年9月）OB会費等をお振り込みいただく用紙です。ゆうちょ銀行の各店舗窓口・ATMからお振り込みください。

- ・年会費：2,000円（2020年度の年会費）  
払込取扱票に以下のような記載のある場合、年会費のお振り込みは**不要**です。  
寄付金のお振り込みにご利用ください。

あなたは2020年度までのOB会費が納入済みです。  
今回は納入不要ですが、  
寄付金のお振り込みにご利用  
ください。

- ・前納会費：10,000円（6年分（2020年度～2025年度）の年会費に充当）
- ・寄付金：（一般、小屋）のどちらかを○で囲んでください。

払込手数料は5万円未満の場合、窓口200円、ATM150円です。

払込取扱票を紛失した場合は、ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票に、下記口座番号と加入者名を記入の上お振り込みください。

口座番号：00290-3-2419

加入者名：横浜国立大学ワンダーフォーゲルOB会

### ★他の金融機関からのお振り込み

他の金融機関からお振り込みいただけます。その場合、預金種目、口座番号は下記のようになります。  
手数料は各金融機関、振り込み方式によって異なりますが、3万円未満の場合は216～648円です。

銀行名：ゆうちょ銀行（9900）

店番：029

店名：〇二九店（ゼロニキュウ店）

預金種目：当座

口座番号：0002419

カナ氏名：ヨコハマコクリツダイガクワンダーフォーゲルオービー

## 印刷版名簿廃止のお知らせ

総務副委員長 木村真行（23期）

印刷版名簿の希望者が年々減少し10名程度になっている為、印刷向けに名簿ファイルの体裁を整える作業、及び印刷の手間を考慮し、今年度より印刷版名簿を廃止し、PDF版名簿のみ希望者に電子メール添付で配布する方針となりました。これを機に、メールアドレスが未登録の方は積極的にメールアドレスの登録をお願いいたします。



## ■ 自由投稿① 小日向山での「Sailing」(Rod Stewart)

太田繁信 (13期)

小日向山といってもほとんどの人が「どこ？」と問うだろう。地形図にも山名の記載はなく山の専門誌にもまず取り上げられないマイナーな山だ。霧ヶ峰の北に星糞峠というインパクトの強い名前を持つ峠がある。地形図には黒曜石遺跡の記載があり、国の史跡となっていて峠までは遊歩道の整備もされているらしい。ちなみに地名の「星」はこの黒曜石のことだ。

小日向山はこの峠の西、1668.0m三角点のあるピーク。地図を見てもピークとも呼べないような緩やかな地形でももちろん登山道の記載はない。僕がこの山を知ったのはマイナーな山のガイドを多く載せる雑誌でだが、その時のガイド記事も対象は峠の反対側、1659.2mのピーク(虫倉山)で小日向山は稜線続きの峰として星糞峠とともに紹介されているに過ぎなかった。

なぜこの山に行こうと思ったのかというと、ガイド記事では虫倉山から北に稜線を下っているのだが「懸垂下降をした」という記載があり、それなら緩やかな地形のこちらの方に下ろうと思ったからで、ついでに言っておくと山行当時(1979年5月)は黒曜石遺跡の史跡指定はまだされておらず、そこに魅かれて選んだわけではない。

当時多くの登山客が利用した中央線の夜行列車を茅野で降り一番のバスで白樺湖へ、ここからは当時も今も公共交通機関はなく歩き。鷹山開拓地のキャベツ畑の脇から取り付き虫倉山のピークに着いたのが9時半、星糞峠まではしっかりした踏み跡があって30分足らずで下っている。峠からも薄く踏み跡が続き、途切れた後もせいぜい膝までの笹藪や茅戸でそれほどの苦労はなく小日向山に着いた。標識の類は全くないが、見つかるだろうかと思っていた三角点もすぐに見つかり、そのそばの岩に腰を下ろす。木は生えておらず霧ヶ峰や北八つなどの眺めも邪魔されることがない。天気は良く初夏のさわやかな風が吹き渡っている。時刻は10時40分。少し早めだが昼食休憩にはもってこいだ。

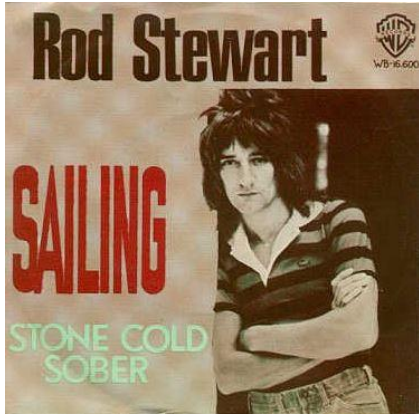
単独でマイナーな山を歩くことが多かった僕は当時ラジオを持参し、休憩時や時には歩きながら聴いていた。他人がいれば迷惑な行為だろうが、一日中誰とも会わない山歩きなら誰はばかすることはない。まだ日曜しか休日がない時代、よく聴いていたのが日曜朝10時から1時間、余計なおしゃべりなしにスタンダードナンバーを中心に音楽を流してくれる番組で、このときも山頂に着く前からラジオのスイッチを入れていた。

昼食休憩を始めたのが10時40分だったから、番組も終盤、残り何曲かというところだったろう。「Sailing」が流れ始めた。74-5年頃のヒット曲だったからそれまで耳にしたことが無いはずがない。

しかし、その時の僕は「こんな名曲を聞き逃していたのか」と思ったのだ。この番組では曲名紹介は終わりにまとめてすることになっていたが、「Sailing」の曲名もそこで知ったように記憶しているのだ。

さわやかな風の中、峰々を一人で眺めながらの「Sailing」のメロディー、Rod Stewartの歌声が「よほどはまっていた」に違いない。誰もいないことを幸いに、いつもはそれほど上げないラジオのボリュームをかなり上げて僕は聞き入っていた。





あの小日向山の山頂で聴くことが無かったら、「Sailing」は僕にとって普通の曲の一つだっただろう。そして、小日向山も平凡な文字通り無名の山でしかなかっただろう。これほど今も鮮明に覚えている山歩きにはならなかったと思うのだ。

時折、YouTube で懐かしい音楽に耳を傾ける。本当にいい時代になったもので、「Sailing」もよく聞く曲の一つだ。もちろん、あの時のように吹き渡る風を感じることはできない。でも、眼をつぶればあの時の小日向山で見た風景が蘇ってくる。僕にとっての「Sailing」は風景を独り占めにできたあの茅戸の山とともにある。

## 自由投稿② 「大家好」

岡田 拓 (24期)

大家好。我是 24 期的冈田。我现在住在广州。

みなさん、こんにちは。24 期の岡田です。私は今中国の広州に単身駐在していて 6 年目に入ります。同期に会うことはないので近況を少々書かせてもらいます。

広州市は華南という中国南部の珠江三角と呼ばれる珠江川デルタ地帯にあり、人口 1,300 万人で北京、上海とならぶ大都市です。自動車産業が盛んで TOYOTA, NISSAN, HONDA の合併生産会社と部品サプライヤーも多く、日本人駐在員も多数住んでいて、日本食屋やカラオケやスナックなどもあり生活には全く困りません。また香港マカオへも日帰りで行ける距離にあります。



私はもう他のOBのみなさんとは違い山は全く登っていませんが、2017年10月の国慶節に西藏(チベット)に行きヒマラヤを見てきました。チベットの省都ラサは標高が3600mあり、チベット仏教のポタラ宮で有名です。ここではまさかの高山病にかかり、ひどい目に遭いました。その後、ラサから往復4日掛けてエベレスト(中国名チョモランマ)ベースキャンプまで行き、朝日に輝くエベレストを見ることができました。



帰任時期は未定ですが、OBの皆様もお体に気を付けてお過ごしください。  
谢谢大家！

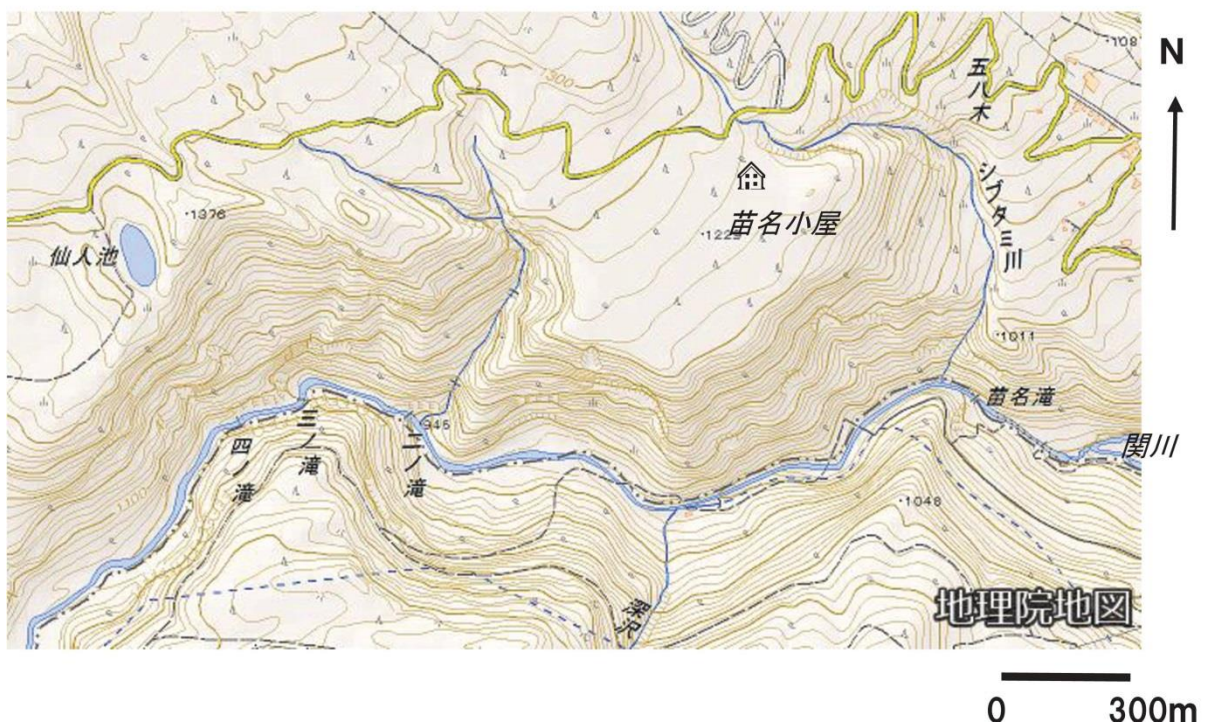


## 1. 地形図を読む面白さ

現役部員の頃は、山行の度に国土地理院発行の地形図を買って、テン場や水場などの書き込みをして山で使っていた。そして山行後には、歩いたルートを赤線で引いた。こうした地図には愛着があるので、痛んでいても保管している。また私が国大時代に在籍していた地理学教室には、全国の2万5千分の1の地形図が揃っており、それらを眺めるのが楽しみであった。

今では全国の地形図が電子化されて、Web上でいつでも自由に閲覧が可能だ。国土地理院が運営している「地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>)」は、縮尺も自在に変えられて、2万5千分の1の地形図を見ることや設定したエリアをプリントアウトすることができる。国内ならどこへでも地図の旅ができる。日本の領土なのだから当然であるが、北方領土の地形図も載っており、人工改変されていない地形を見るのは面白い。

図1 苗名小屋付近の地形図



## 2. 苗名小屋周辺の地形図

YWOBの皆さんには馴染みのある苗名小屋周辺を、2万5千分の1の地形図で見てみよう。図1は、下表の示す手順で小屋周辺の地形図をダウンロードし、小屋の位置を記載して作成した。小屋周辺の地形は、南東方向に高度が下がり、等高線の間隔が開いており、小屋が妙高山南麓の台地状の地形に位置していることがわかる。関川の谷は深く、苗名滝の上流には二ノ滝、三ノ滝、四ノ滝がある。滝があるのは侵食力が強い証拠で、更に侵食が進めば平滑な川床勾配に変化して滝が消滅するであろう。関川左岸からは、苗名滝付近でシブタミ川が、二ノ滝付近で無名の沢が関川に注いでいる。大学1年の小屋合宿の時に泳いだことがある仙人池は、流出河川のない閉塞湖である。池の北東には、1376mのピークを持つ尾根状の地形がある。

表 地形図、赤色立体地図、地質図のダウンロード手順

地形図	<a href="https://maps.gsi.go.jp/">https://maps.gsi.go.jp/</a> と入力し、拡大すると地形図が表示される	
ダウンロード手順	赤色立体地図	地質図
1	画面左上の「情報」をクリック	画面左上の「情報」をクリック
2	「起伏を示した地図」をクリック	「他機関の情報」をクリック
3	「赤色立体地図」をクリック	「地質図」をクリック



4	赤色立体地図が表示される	「20万分の1地質図」をクリック
5		地質図が表示される
6	画面右上の「機能」、「ツール」、「画像として保存」の順にクリック	

### 3. 赤色立体地図

NHK で土曜日の 19 時 30 分からやっている「プラタモリ」は、私の好きな番組の 1 つである。この番組は、NHK の若手女子アナの登竜門のようで、ニュースウォッチ 9 の桑子真帆さんは、プラタモリ出演を機にブレイクした。番組の解説は、とても解りやすく、地理や歴史の授業もこんな風であればいいのになあ、などと教員にならなかった私でさえ思う。この番組は、国土地理院や日本地質学会から表彰されている。タモリは、地形や地質にかなり詳しく、解説者が舌を巻くほどである。番組で使われるのが「赤色立体地図」である。この地図は、アジア航測という会社が独自開発して特許を取得した、地形が立体的に見える表現技法である。私は学生時代に、この会社でバイトをしていたことがあり、採用内定も頂いた。もしかしたら、この会社に進んだ方が良かったかも？

2018 年 6 月より地理院地図から赤色立体地図を全国閲覧できるようになった。ダウンロードの手順は上表に示す。この地図も縮尺を自在に変えられるが、あまり拡大するとぼやけてしまう。赤色立体地図は、2 万 5 千分の 1 の地形図より、さらに地形の起伏を極めて明瞭に視覚的に捉えられる優れもので、飛行機から真下の下界を眺めているようだ。特に、火口や溶岩流などの火山地形、崩壊地の滑落崖などが鮮明である。

さて苗名小屋周辺の地形を赤色立体地図で見てみよう。図 2 は、ダウンロードした地図に地名などを記載して作成した。図 2 は図 1 より広い範囲を示す。▲は、妙高山の最高点で中央火口丘に当たる。中央火口丘と三田原山 (M) の間の窪地がカルデラである。カルデラの東方は、外輪山の侵食が進んで馬蹄形を呈し、白田切川に深く刻まれている。カルデラの外側には、三田原山、赤倉山をはじめとする外輪山がある。赤倉山の南斜面には大きな崩壊地がある。苗名小屋は、妙高山南麓のなだらかな台地状の地形に位置する。苗名小屋の南方は、関川の深い谷に刻まれている。関川右岸は黒姫火山の山麓斜面である。黒姫火山と妙高山の山麓は、地形的に繋がっており、後に関川が侵食して深い谷を刻んだようだ。図 1 と図 2 を見比べると、等高線で表現された地形図より赤色立体地図の方が、尾根、谷、凹地、平坦面などが生々しく表されている。

図 2 妙高山南麓の赤色立体地図

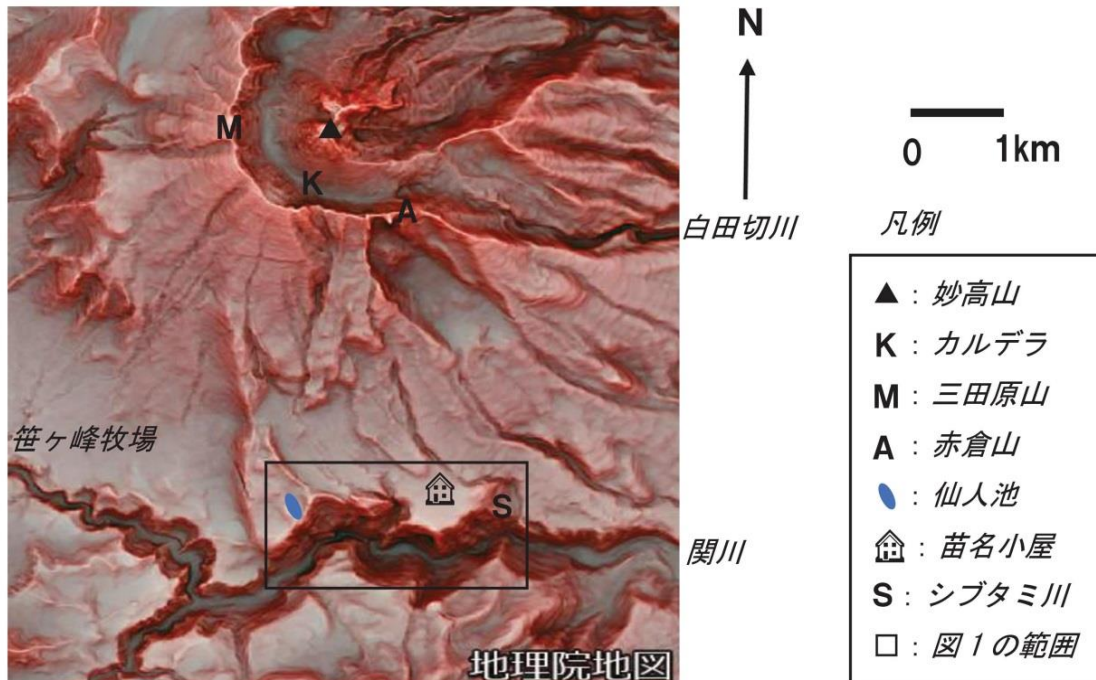


図3 妙高山南麓の地質図（赤色立体地図に重ね合わせ）

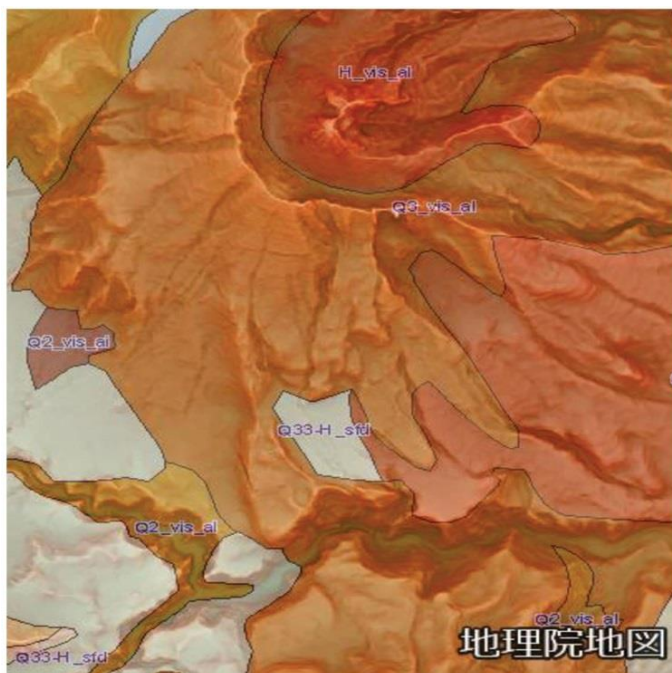


図3は、図2の範囲の地質図である。ダウンロードの手順は上表に示す。その際に「透過率」を調整して図2の赤色立体地図に重ね合わせた。例えば、茶色は安山岩又は安山岩質の溶岩を、三田原山（M）の北西方の水色は湖沼堆積物を、それぞれ示す。このように設定した範囲の地質図も簡単に作成することができる。

#### 4. おわりに

ノンフィクション作家の梯久美子さんが、「ゆるがぬ地図愛」と題した新聞のコラムで、「地図が好きで、国土地理院発行の地形図を見れば、地形をほぼ把握できるのがひそかな自慢である」と記していた。私も同じような域に達した。一般的な趣味として「読書」はよく聞かすが、私の場合は「読図」が趣味で少々病的である。地図愛を持つ人の中には、地名や市街地の広がり方など人文・社会現象に興味を持つ人もいる。

危機管理対応の仕事をしているため、今日は天気が良いので思い立って遠出してみよう、というわけにはいかず、2万5千分の1の地形図を読図していた。本稿で紹介した赤色立体地図の登場により、読図という机上の楽しみが劇的にアップした。山好きのYWOBの皆さんも、赤色立体地図を是非ご覧いただきたいと思う。

### ■ 観天望 (編集委員会から) ①

(P10からの続き)

ラグビーはルールが複雑で、見ていても何をしているか分からないという人のために、経験者の端くれでしかない私が言うのも何ですが、一言でルールを言うと、「立って、ボールより後ろでプレーし、ボールを前に投げてはいけない」です。「立って」とは、タックルしたり、倒されたりして地面に寝ている状態でのプレーは禁止ですので、立っている状態でプレーをするという意味です。ですから、強いチームは倒れても皆すぐに立ち上がります。「ボールより後ろ」とは、攻撃時ではボールより前の位置はオフサイドであり、プレーはできませんから、ボールより後ろの位置に居なくてはなりません。更にボールを前には投げられませんから、ボールを持つプレイヤーの後ろから走り込んでボールをもらうシーンが多いのです。

ラグビーの話はいくらでもしたいのですが、書くスペースがないので最後に1つ問題です。ラグビーワールドカップ日本大会の公式マークに描かれているものは何でしょうか。

<追記> 観天望記ではOB会らしく山や自然や季節にまつわる事を書いてきましたが、今回だけは関係が無い内容ですみません。「旬の話題」として寛大な心で受け止めていただけたら幸いです。(上の問題の答えは、日本の象徴である日の出の太陽と富士山です。P20裏表紙の大会公式マークをご覧ください)

## ■ 現役部員の活動紹介

主将 林 知樹 (61期)

お世話になっております。61期主将の林です。3月下旬から8月上旬に至る現役活動報告を行わせていただきます。

2019年3月21日～22日 蛭ヶ岳登山 (4名)

→このまさわキャンプ場にて一泊。残雪がまだ多かった。歩行時間8時間超え。新歓前の活動はこれが最後となる。



4月に入ると新歓が始まった。

まずは新入生向けの説明会を昼休みに実施。3回に分けて実施し新入生26名が参加してくれた。説明会の日の放課後には部室でホームパーティを実施。学生課に許可を頂き、部室でIH機器を使用して料理を振舞った。新歓山行は以下の3回実施、また今年は小屋開きも新歓行事に取り入れた。

2019年4月13日 日の出山 (6名)

→登山口に温泉があるため、下山後の温泉を体験してもらう新歓山行として実施した。

2019年4月21日 高水三山 (18名)

→奥多摩の三山縦走。プチ縦走を新入生に体験してもらった。

2019年4月27日 明神ヶ岳 (14名)

→景色が良かったため新歓山行として選んでいたが、悪天候により中止。

2019年5月1日～3日 小屋開き (18名)

→新入生は6名参加。仙人池に落ちる新入生も。

2019年5月8日 確定新歓 (23名)

→新入部員は17名。



新歓が終わるとさっそく新錬Ⅰが始まり、それに続き日帰り登山・小屋など毎週末はワングルの活動を行うようになった。

2019年5月11日 新錬Ⅰ 丹沢山 (20名)

→目的は長距離歩行の練習。

大倉～塔ノ岳～丹沢山～塔ノ岳～大倉



2019年5月19日 岩殿山 (11名)

→プレ鎖場練習。この時期は毎週登山だったためこの回は軽め。

2019年5月26日 乾徳山 (25名)

→鎖場練習。初めて4隊編成を行った。

登山口～乾徳山～大平牧場



2019年5月31日～6月2日 山菜小屋 (11名)

→山菜採り、夢見平ハイク、バーベキュー、苗名滝など…。

2019年6月8日～9日 新錬Ⅱ 金峰山・瑞牆山 (21名)

→目的はテント泊練習・大型ザック練習。

二日目はずっとガスが掛かっていて視界不良だった。



瑞牆山荘～瑞牆山～富士見平小屋(泊)～金峰山～国師ヶ岳～北奥千丈岳  
～大弛峠

2019年6月22日 歩荷訓練 明神ヶ岳 (13名)

→20～25kgの歩荷訓練。この日は雨天だったため、雨天時の歩行練習も兼ねた。



2019年7月6日～7日 新錬Ⅲ 北岳・間ノ岳 (22名)

→5日の夜に梁川駅まで移動し前泊したため実質2泊。北岳肩ノ小屋で一泊。次の日に北岳に登頂する予定だったが、大雨&強風であったためあえなく撤退。

2019年7月14日 両神山 (15名)

→悪天候により中止となった。今年は梅雨が長かった…。



2019年8月1日 夏合宿激励会 (20名)

→現役の20名に加え、OB8名と部長先生の計29名が参加。就活の話もOBの方からお伺いすることができ非常に有意義な時間になりました。ありがとうございました！

2019年8月5日～9日 夏合宿① 槍ヶ岳・穂高岳 (15名)

→5日間とも晴天に恵まれ、北アルプスの絶景を満喫することができた。

(行程) 上高地～横尾山荘(泊)～殺生ヒュッテ(泊)～槍ヶ岳～南岳小屋(泊)～北穂高岳～涸沢岳～穂高岳山荘(泊)～奥穂高岳～上高地



ヘルメット支援 ありがとうございました。

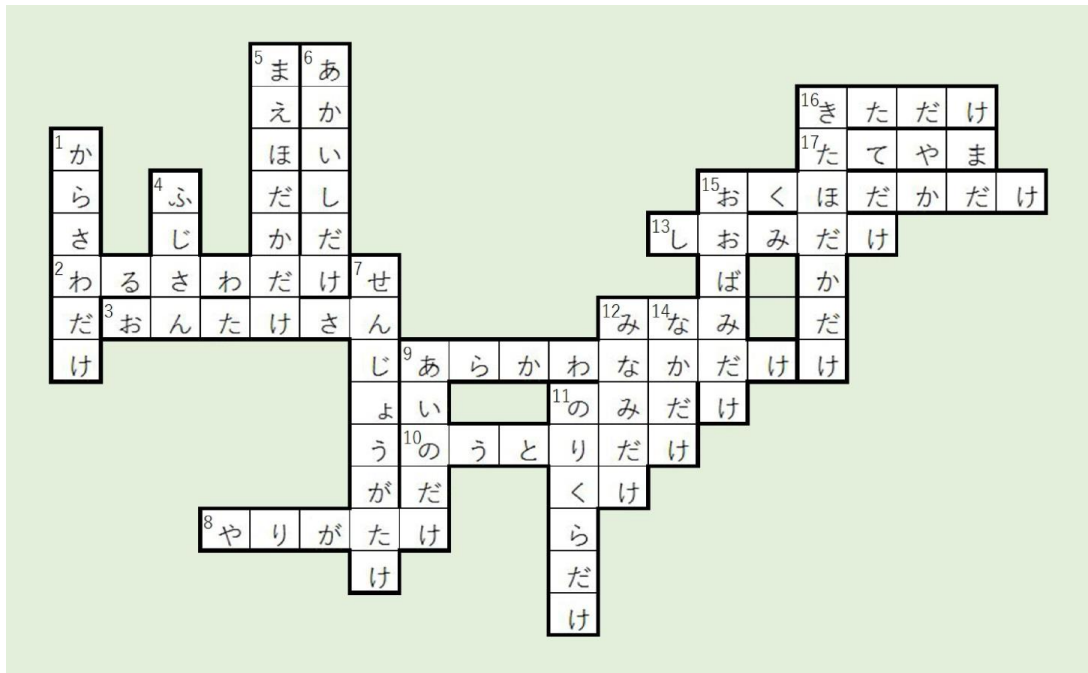
現役一同

## ■ 訃報

・村田尚雄氏 (10期) が2019年5月10日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

YWOB クロスワードパズルの答え



【解説】 □に入るのは標高1位から20位の山の名前です。

【 タテのカギ 】	【 ヨコのカギ 】
<p>1. ○○カール                      涸沢カールで有名な涸沢岳</p> <p>4. ルート5  <math>\sqrt{5}</math>は2.2360679...「ふじさんろくオオムなく」だから富士山</p> <p>5. 吊り尾根の先                      奥穂高岳から見て吊り尾根の先は前穂高岳</p> <p>6. ヒノモト7・ミナミ4                      日本で標高7位、南アルプスで4位は赤石岳</p> <p>7. 大も小もある                      大仙丈岳、小仙丈岳がある仙丈ヶ岳</p> <p>9. ミナミのキタの次                      南アルプスで北岳の次に高いのは間ノ岳</p> <p>11. 馬の背にクラ                      馬の背に鞍を置いた山容に由来する乗鞍岳</p> <p>12. 木のクラのミナミ                      木偏に倉で「檜」、檜ヶ岳の南は南岳</p> <p>14. ソトは無い                      外は無いので「中だけ」(ダジャレ) → 中岳</p> <p>15. ヤリとナカのナカ                      檜ヶ岳と中岳の間にあるのは大喰岳</p> <p>16. ミナミのミナミのキタ                      北アルプスにある南岳の南は北穂高岳</p>	<p>2. No.6                      日本で標高6位は悪沢岳</p> <p>3. キソの火噴き                      木曾山脈(中央アルプス)で近年噴火したのは御嶽山</p> <p>8. 木のクラ                      木偏に倉で「檜」→檜ヶ岳</p> <p>9. ワルの横                      荒川三山の1つ、悪沢岳の横(西)は荒川中岳</p> <p>10. 高いのに西○○                      農鳥岳より標高が高いのに主峰扱いされない西農鳥岳</p> <p>13. ミナミのドーム形                      南アルプスにあるヘルメットのようなドーム形の山容の山は塩見岳</p> <p>15. ヒダの主                      飛騨山脈(北アルプス)の主峰は奥穂高岳</p> <p>16. only have come                      訳すと「来ただけ」→ 北岳</p> <p>17. オオナンジ                      大汝山が最高峰の山は立山(3つの峰の総称)</p>





**RUGBY**  
**WORLD CUP™**  
**JAPAN日本2019**

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会  
公式マークに描かれた富士山

皆様からの投稿をお待ちしています。自由投稿の原稿、写真、スケッチ等を編集委員会にお送り下さい。メールアドレス [kaiho-ywvob@ywvob.com](mailto:kaiho-ywvob@ywvob.com)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

**YWVOB 会 会報第 72 号**

発行行： 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会  
発行日： 2019年9月7日  
発行責任者： 会長 西田雅典(20)  
編集責任者： 編集委員長 石垣秀敏(20)  
編集集： 編集副委員長 武藤功二(20)  
編集委員 成島和仁(22)、楠本なぎさ(28)  
印刷所： 株式会社プリントパック 京都府向日市森本町野田 3-1